フレスタだより

Vol.06

障がい者への合理的配慮ってなに？

すすんでほしい障がい者差別解消

バリアフリーは障がい者・高齢者のために物理的・精神的な障壁を取り除いたもの、ユニバーサルデザインは障がいなどに関係なく誰もが使いやすいようにデザインしたものです。今では一般に知られるようになってきました。

ところで、“合理的配慮”って聞かれたことはありますか？　とっつきにくいことばですが、社会の中にあるバリアで困っている人の求めに応じて、バリアを取り除くように対応することです。ハード面での改善が難しい場合、どのようにバリアを取り除くかを話し合うことも合理的配慮です。バリアは、実は差別であり、それを解消するために、東京都は、事業者にも合理的配慮を義務化しています。さて、そのようになっていますかね？　周囲のバリアに対し、ソフト面ではどんな“合理的配慮”ができるかな？　と考えてみると、きっといいアイデアがうまれるかも？

例えば

◆記載台が高くて困っている車いす利用者に膝の上で書けるようバインダーを用意する　◆飲食店に入りたいけど混雑状況が分からず困っている視覚障がいの方に口頭で状況説明し案内する

◆人混みが苦手な人に個室で待ってもらう　◆字を代わりに書いてほしいと言われたらその人の意思を十分に確認しながら代書する

(C)イラスト
内閣府

地域のみなさまへ

私は車いすで歩いています。いつも、お昼に買い物に行くとき、親切に道をあけてもらい、ありがとうございます。

(N)

※このコーナーは、ここで働く私たちが毎月交代で、みなさまへのひとことメッセージを掲載しています。

作業は工夫をしながらやっています

フレッシュスタート目白（フレスタ）には、手が不自由だったり、目が見えない人も働いています。

そこで、チラシを折る、何かを作るといったとき、役に立つのが補助具です。

スタッフが用意したものもありますが、仲間が「こんな道具があれば作業しやすいだろう」と気を利かせて作ってくれたものもあります（写真：穴あけの道具。道具下のオレンジの滑り止めは地域の方からのご提供品）。

これらの道具を使って、作業をすすめています。

◆お仕事募集◆

水やり、庭の掃き掃除などのお仕事いたします。
ご用命ください。

品物ご提供　随時受け付けています

取り扱っていない品もあります。詳しくはHPなどでご確認ください

フレッシュスタート目白（フレスタ）は、NPO法人VIVIDが運営している、就労継続支援B型事業所です。障がいがある人もない人もお互いの人格と個性を尊重し、相互に助け合っていける社会を共につくっていくことを理念として、2018年に開所しました。リュースショップはその一部です。

フレッシュスタート目白

Tel. 03-6908-3663　新宿区下落合 4-20-16　ソレイユ目白 103

発行：2020.2.　発行責任者：池田敦子